

卓球部、歓喜の最後…

新型コロナウイルスが感染拡大に伴って臨時休業が続き、練習期間が短く不安がある中でしたが対策を行いながら6月20日(土)に古川高校第2体育館で行われました。
結果は以下の通りです。

【試合結果】		
男子	3対2	勝利
女子	1対4	惜敗



卓球部女子主将 狩野萌々子選手

「今日の試合結果は心の底から喜べる結果ではなかったが、皆で団結して行うことができて良かった。後輩たちには自分たちを超える団結力をつくってほしい。」と語った。当日は一人一人がとても輝いていた。



卓球部女子顧問 佐藤淳子先生

「このような状況の中、部員全員でここに来たことが奇跡。これまでのプレーができたことに感謝をして、試合に出て闘ったということ。その時点で彼女たちは勝ちだと思う。」と語った。

卓球部男子主将 佐竹凌空選手

「楽しんで試合に臨めた、この仲間たちと3年間頑張ってきてよかった。後輩には自分たちの代以上に頑張ってもらいたい。」と語った。

3年生の高橋駿選手は激しいラリーの末に最後の最後で仲間たちが見守る中、勝利を掴んだ。その瞬間会場の築館高校の人たちが歓喜をあげ、泣いている人たちも見受けられた。例年と異なる状況で試合をする形にはなってしまったが、築館高校のどの選手も戦っている姿が輝いていたのが印象的であった。



最後に勝利をきめた
高橋駿選手



卓球部の皆さん、
本当にお疲れ様でした。

【取材：佐藤美月・佐藤真奈】